

京 都 新 聞

KYOTO SHIMBUN

(京都)

'08.10. -8

新たな国際枠組みを

STSSフォーラム閉幕

科学技術の国際的な諸問題を話し合う「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSSフォーラム）」の第五回年次総会は七日、京都市左京区の京都国際会館で、「気候変動対策に、京都議定書

に代わる国際的枠組みが必要」などとする声明を発表し、閉幕した。声明には「安全条件を厳格にして原子力発電を増やすべき」「食糧資源以外から作るバイオ燃料の開発を」との提言も盛り込んだ。

主催したNPO法人（特定非営利活動法人）理事長の尾身幸次元財務相は、閉会後の記者会見で「人類の将来を方向付けるムーブメントだ」と意義を強調した。

閉会式には皇太子さまが出席し、「地球の未来のために科学技術が適切に使われるよう、常に人類の英知を結集し続けていく必要がある」と述べた。今回の総会は世界九十一の国や地域、国際機関などから大臣や科学者ら約八百人が集い、「自然との調和」を主なテーマに三日間議論した。次回は来年十月四日から三日間、同会館である。